岡本台病院は、
令和４（2022）年４月に地方独立行政法人へ移行し、
「地方独立行政法人栃木県立岡本台病院」となる予定です。

栃木県民のための
地域精神医療情報ネットワーク誌

Okadai NEWS

令和３(2021)年 10月
vol.4

栃木県立岡本台病院　基本理念

地域精神医療の基幹病院として
役割を果たすとともに、
患者さん一人一人の人権を尊重し、
より良質な医療の提供により、
県民の精神医療と福祉の向上に寄与します。

Contents

- 精神科救急（緊急）医療について
- 連載：診察室より
- Okadai活動紹介：CVPPP
- Topics：クロザピンによる薬物療法
- 外来診療のご案内

写真：岡本台病院のＣＶＰＰＰ活動

岡本台病院では、ＣＶＰＰＰ活動を定期的に行い、臨床現場における対処・対策方法についての情報交換を行っています。

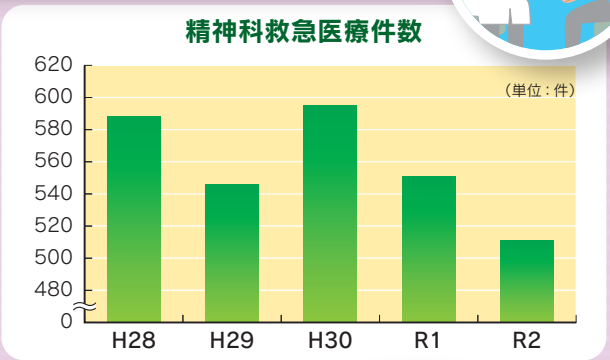
敷地内 全面禁煙
当院では受動喫煙防止のため敷地内全面禁煙となっています。
受動喫煙の防止にご協力ください。

発行：栃木県立岡本台病院

特集　精神科救急（緊急）医療

当院は、栃木県内における精神医療・福祉の中核的な役割を担う精神科病院として、休日・夜間等における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により緊急に治療を必要とする患者を対象に、一次救急（外来診療及び自らの意思で入院する任意入院）・二次救急（家族等の同意に基づく医療保護入院）・三次救急（措置入院・緊急措置入院・応急入院）などの緊急・救急医療を実施しています。

また、精神科救急医療の常時対応型施設として位置付けされており、地域精神医療の基幹病院として求められる役割を果たせるよう、医療連携体制の強化にも日々努めています。



岡本台病院の三次救急はスゴイ！

栃木県内の新規措置入院患者のほとんどを受け入れています

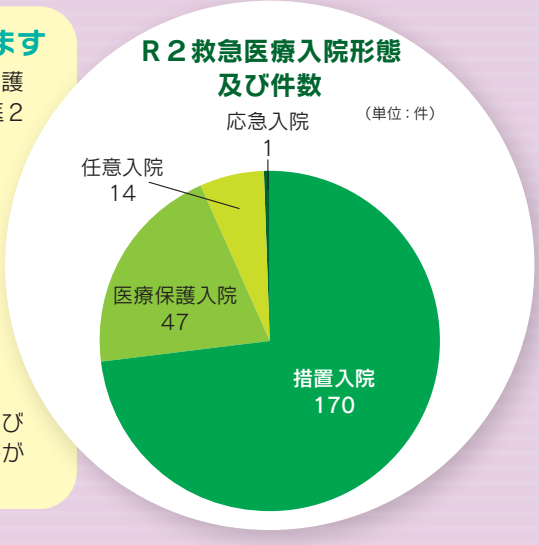
措置入院とは・・・精神障害のため自傷・他害のおそれがあり、医療及び保護が必要な患者を入院させるもので、平日昼間における診察で精神保健指定医２名による診察・判定が必要です

すべての緊急措置診察と入院患者を受け入れています

緊急措置入院とは・・・精神障害のため自傷・他害のおそれがあり、著しく緊急に医療及び保護が必要な患者を入院させるもので、休日・夜間における診察で精神保健指定医１名による診察・判定が必要です

栃木県唯一の応急入院指定病院です

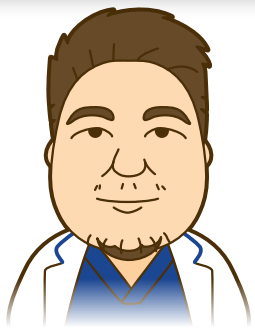
応急入院とは・・・精神障害のため直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障がある患者に対し、急を要するため家族等と連絡が取れない場合に、本人の同意がなくても一時的に入院させられるものです



◆三次救急の主な流れ

警察官通報 ▶ 通報受理窓口 平日 17:15～8:30 休日 24時間 ▶ 岡本台病院へ移送 ▶ 指定医１名に診察・判定 ▶ 緊急措置入院 / 入院不要なら帰宅 ▶ 72時間以内に指定医２名による再診察 ▶ 措置入院 / 入院不要なら帰宅

連載　診察室より ～救急の現場より患者さま、ご家族さまへ～



第一病棟（救急病棟）
医長
竹内 祥貴
Yoshitaka Takeuchi

◆資格・学会認定等
- 精神保健指定医
- 臨床研修指導医
- DPAT先遣隊員

突然ですが、岡本台病院の夜の顔をご存じですか？　注：怖い意味では全くありません。

岡本台病院は24時間365日稼働している救急の病院になります。

夜どうも落ち着かない、薬をもらいに行くのを忘れてしまった、明日仕事に行くことを考えると緊張して眠れない、こんな経験ありませんか？そんな時も対応しておりますのでご相談いただければと思います。日中の診察と違って、普段の担当の先生ではないと思いますが、困っている方の力になれるよう頑張っています。

中には救急車が必要になってしまう方や、警察の方と一緒にいらっしゃる方もいますが、一緒に病気を乗り越えていけるようサポートをしています。重症の方もいらっしゃるので、やむを得ずお待たせしてしまうこともあるかもしれませんがご容赦ください。

入院が必要な方もいらっしゃると思います。以前は精神科の入院と聞くと治らないと言われて怖いイメージがあったかと思いますが、救急の病棟でも和やかな雰囲気で過ごしていただけているように思います。今は入院する方も数か月で元の生活に戻れるようになってきています。望まない入院を防ぐ・長引かせないためにも早く見つけること、早く治療することが非常に重要です。

ご家族の方や患者さまが、いつでも些細なことでも相談できるよう、今後もスタッフと明るい雰囲気でお待ちしています。

Okadai 活動紹介

ケアを創る安全と安心「CVPPP」

Comprehensive Violence Prevention and Protection Program

◆ CVPPPとは

CVPPP（シーブイトリプルピー）とは、主に精神科医療、その他関連領域の患者さん達を「ケア」するためのプログラムです。患者さんも病院職員もともに同じ「人」であり、互いに尊重され守られるべき存在、と位置づけています。

プログラムは、以下の５項目で構成されています。

❶ リスクアセスメント（患者さんを理解する）
❷ ディエスカレーション（安心と落ち着きを取り戻す）
❸ ブレイクアウェイ（適切に距離を取りケアに繋げる）
❹ チームテクニクス（チームで介入し安全を保持する）
❺ 振り返りと報告（アフターケア）

いろいろな職種のメンバーが定期的に意見交換しています。

CVPPPでは、苦しみを抱えている患者さんに対し、「あなたの味方です」と姿勢を示すことで、不安や興奮等の症状を和らげられるものと考えます。また、患者さんの不安や興奮、感情の起伏等にどう寄り添っていくのか、ということに思いを馳せることも大切です。

◆ 患者さんに寄り添うためのCVPPP

当病院にはCVPPPクラブがあり、定期的に「ケア」の質を高めるための学習会を行っています。（毎月１回のペースで実施しています。）様々な職種の職員が参加し、意見交換の場としても活用しています。前述しましたが、CVPPPとは患者さんに寄り添うための「ケア」です。

ケアとは「その人が成長すること、自己実現することを助けること」であり、さらには「自分をも成長させるもの」とされています。CVPPPを用いケアの質を高めながら、患者さんに還元できるよう努めて参ります。

学習会では、患者さんへの対応の仕方を実践して学びます。

CVPPPインストラクター及びプレインストラクターのメンバー

Topics

クロザピンによる薬物療法

統合失調症の治療には抗精神病薬が使われます。

1950年から多くの薬剤が登場し、1970年頃にクロザピンという薬剤が開発されました。体への副作用が少なく今でも最も有効な薬剤ですが、細菌から体を守る細胞である好中球がなくなるという当時の医療水準では死に直結する有害作用があるため使えなくなりました。

その後好中球を増やす薬が開発されて死の危険がほとんどなくなったことでクロザピンも見直され、2000年頃から世界中で使われるようになりました。体重増加や糖尿病の危険性もありますので、日本では他の二つの薬で効果がない場合に、白血球と好中球の数、血糖値などを定期的に測定しながら使用します。この薬を使うために医師、看護師、薬剤師は講習を受けております。また有害作用時の連携先病院を決めて安全な使用に努めています。さらに検査科では、休日でも血球数の測定ができるように準備をしています。

このように、岡本台病院では多職種の力で治療が難しい統合失調症の患者さんの治療に当たっています。クロザピンの使用には、主治医の判断だけでなく患者さんあるいは自ら決めることが難しい患者さんに代わって判断する方の同意が必要ですので、関心のある方は是非主治医にお問い合わせください。

外来診療のご案内

予約受付 電話番号 028-673-2211

診療受付時間【 月～金曜日 】 8:50～11:00

予約受付時間【 月～金曜日 】
- 初診予約 14:00～16:00
- 再診予約及び予約変更 12:00～16:00

■当院の外来は全て【 予約制・主治医制 】となっています。
初診・再診に関わらず、予約時間を守って受診していただくようお願いいたします。
■また、主治医によって受付順が前後することがありますので、ご了承ください。
■当院では医薬分業の一環として、外来患者様には【 院外処方せん 】をお薦めしています。
詳しくは、主治医または薬局にご相談ください。

外来担当医一覧

精神科一般外来

統合失調症、双極性障害、不安障害など、幅広い精神疾患に対し、精神療法や薬物療法を用いて治療に当たります。

	月	火	水	木	金
初診	（当番）	（当番）	（当番）	寺石＊	（当番）
再診	島田（達） 山口 高橋 小林	伊集院 田中 三浦 天野 岡田＊	伊集院 高橋 織田 穴水	竹内※ 白木 菊池	伊集院 原 横山 清田＊

＊非常勤医師
※10時台の診察なし

アルコール・薬物専門外来

アルコール依存症の治療が中心ですが、栃木DARCと協力して薬物依存症への支援や
近年問題となりつつあるインターネット依存やギャンブル依存にも対応できるよう準備しています。

	月	火	水	木	金
初診		島田（直）		山口	田中
再診	島田（直）	山口	島田（直） 田中 黒田＊	島田（直）	黒田＊

＊非常勤医師

※上表は令和３(2021)年10月１日現在のものです。最新の情報につきましては病院ホームページにてご確認ください。

■交通のご案内

交通機関をご利用の場合

- JR宇都宮線・岡本駅西口から徒歩15分（タクシーで５分）
- JR宇都宮駅からタクシーで15分
- 宝木団地発（JR宇都宮駅経由）の関東バス
「奈坪台中央（奈坪台）」行き「金井台中」下車徒歩５分、
又は「釜井台団地」行き「釜井台団地入口」下車徒歩10分

お車をご利用の場合

- 東北自動車道、宇都宮ICから30分
- 北関東自動車道、上三川ICから30分

■緊急・救急医療のご案内

夜間・休日に具合が悪くなった時は、**栃木県精神科救急情報センター**にご相談ください。

栃木県精神科救急情報センター TEL 0570-666-990 平日／17:00～22:00 休日／10:00～22:00

編集後記

昨年度発刊したOkadai NEWSですが、今回で４回目の発行になります。患者の皆様や関係機関の方々等に対し、当院の活動や精神医療について、これからもより充実した内容をお届けできるよう、病院全体で取り組んで参ります。

（広聴広報委員会）

本誌に対するご感想やご意見等をお待ちしております。
下記Emailアドレス宛てにご連絡ください。
Email：okamotodai@pref.tochigi.lg.jp
※右記のQRコードを読み取りいただいても結構です。

栃木県立 岡本台病院
〒329-1104 宇都宮市下岡本町2162
TEL 028-673-2211 FAX 028-673-2214

【 岡本台病院HP 】